

単元案の概要

テーマ
韓国オーダーメイドツアー作り
目標
学習レベル 3 日本に住む日本人大学生に向けておすすめの韓国ツアープランを作成し、パンフレットにまとめよう
コミュニケーション能力指標
<p>【自分と身近な人びと】3-b 好きなことやもの・人について、その理由を含めて、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>【食】3-c (改) 韓国の代表的な料理について、口頭または文章で紹介できる。</p> <p>【食】3-e 韓国と日本の食文化について、会話できる。</p> <p>【衣とファッション】3-b いま、自分たちの間で流行しているファッションについて、写真などを用いて、簡単に紹介しあうことができる。</p> <p>【買い物】2-f 買い物の情報を、口頭でまたは書いて、アドバイスできる。</p> <p>【買い物】3-h 日常の買い物について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>【交通と旅行】3-a 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる。</p> <p>【交通と旅行】3-b 観光地の案内プレートや説明文・ガイドブックの大意を理解できる。</p> <p>【交通と旅行】3-e お勧めの旅行先について理由を含めて語り合うことができる。</p> <p>【交通と旅行】3-f 自分の住んでいる地域の交通事情について、口頭または文章で説明できる。</p>
学習シナリオ
<p>韓国 S 大学の日本語クラス（3 年生）では、日本 M 大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する 3 年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。この日本人大学生の中には夏に韓国研修旅行に参加する予定の学生も含まれる。まず、韓国側と日本側で 4～5 人のグループを作る。滞在先がソウルで 1 日自由時間があるという設定のもと、韓国の大学生は自分ならどこを紹介したいかをグループで話しあう（活動①）。その後、日本のグループとマッチングし、お互いメールあるいは SNS を活用して自己紹介しあう。その際に、韓国の学生は日本の学生がどんなことに興味を持っているか、韓国を訪れるならどんなことを体験してみたいか、について必ず尋ねる（交流①）。日本人大学生からの回答を読んで、自分たちが紹介したいと考えていた場所と日本の学生の興味・関心、行きたい場所との共通点や相違点を考え、気付いたことをメモしておく。各グループで紹介する場所について相談し（活動②）、手作りのツアープランを企画した後、ツアープラン企画発表会をクラスで行う（発表①）。企画発表会では、ツアープランの概要について日本の大学生と情報交換をした結果、どのような結果が得られたか、どのやりとりを通して文化面でどのような気づきを得たかについても触れる。発表はすべて日本語で行う（1 グループ 15 分程度）。その場での質疑応答の結果も踏まえて、授業内</p>

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：宮城学院女子大学准教授 澤邊裕子

あるいは授業外の時間にツアープランの概要を日本人大学生グループに Skype を通して口頭で伝え、修正したほうが良い箇所がないかを確認する（交流②）。ツアープランの内容が決定したら、パンフレットの作成を行う（活動③）。原稿には自分がその場所を訪れたときの感想や訪れる際のアドバイスを入れてすべて日本語で作成し、草稿を日本人大学生に読んでもらい、添削してもらう（交流③）。添削してもらった内容を踏まえて、完成版を作成する（活動④）。できあがったパンフレットは日本人大学生グループに送付するとともに、PDF 化して学科のホームページに掲載してもらうように学科の担当者に依頼する。日本人大学生からパンフレットを受け取って読んだ感想・フィードバックをもらい、それを踏まえて完成発表会をクラス内で実施する（発表②）。他のグループの成果物（パンフレット・発表）を見て、それぞれのグループの良いところ・改善すべきところについて評価しあう。

総括的評価

- ・ 日本人大学生から必要な情報を得て、ツアープランを企画し、パンフレットにまとめることができる。
- ・ わかりやすく、見やすく、使いやすいパンフレットが作成できる。
- ・ 自分のことば（既存の雑誌やネットのガイド記事のコピーではない、自分の日本語）で紹介文が作成できる。

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：宮城学院女子大学准教授 澤邊裕子

3×3+3分析

テーマ：韓国オーダーメイドツアー作り

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことを尋ねるために必要な言語表現がわかる。 観光案内をするために必要な語彙・表現がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが観光案内したい場所と、日本人大学生が行ってみたい場所との共通点や相違点を知る。 日本人大学生が韓国を訪れた場合に、遭遇するであろうシチュエーションについてさまざまな資料を読んで知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日韓関係の構築において、日本と韓国の大学生同士が相互に交流することの重要性を知る。 グローバル社会に置いて SNS や Skype などの手段を効果的に用いることの有効性を知る。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 日本人大学生に好きなことや行ってみたい場所についてインタビューをして情報が収集できる。 観光案内の文章が作成できる。 添削やアドバイスをもらった文章を見ながら完成版が作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが観光案内したい場所と、日本人大学生が行ってみたい場所との共通点や相違点がどのような背景から生まれているか分析できる。 日本人大学生が韓国を訪れた際に、気を付けたほうが良い点（食事、交通マナーなど）についてまとめられる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループにおいてメンバーと意見を交換し、自分の役割を責任を持って果たすことができる（協働）。 パンフレット作成という目標を果たすために、必要な情報を収集し、客観的に分析し、それをもとに成果物を効果的に作成することができる（高度思考）。 インタビューをしたり、企画案を発表したり、内容を修正するための Skype セッションをする過程において、ICT の特性を活かして活用することができる（情報活用）。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 日本語を使って、日本人大学生と対話をしながら関係を築いていく。 作成したパンフレットを日本人大学生にプレゼントする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人大学生の持つ文化的背景を考慮しながら、相互に交流ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学科のホームページに成果物をアップし、より多くの人々に情報が発信できる。
三連携	連携1：大学生の関心のある分野と繋がる。 連携2：既習内容、学生の観光案内の経験と繋がる。 連携3：教室外の人・モノ・情報と繋がる。		

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：宮城学院女子大学准教授 澤邊裕子

目標の要素分解

テーマ：韓国オーダーメイドツアー作り

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
グループ内でブレインストーミングする。	何をどの順番で紹介するかを決める。	魅力的なパンフレットを作成する編集者になる。	日本に住む日本人大学生に向けておすすめの韓国ツアープランを作成し、パンフレットにまとめる。
PCなどの機器を使ってレイアウトのイメージを作成する。			
必要な写真を収集する。	どのような写真をどこに挿入するかを決める。	紹介する観光コースについて口頭で説明する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
PCなどの機器を使ってレイアウトのイメージを作成する。			
交通アクセスの方法について口頭で説明する練習をする。	どこをどの順番で訪れたら良いかを口頭で説明する。	紹介する観光コースについて口頭で説明する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
それぞれの場所で観光するのに必要な時間について言う練習をする。			
有名な観光地について、人がよく訪れる理由について説明をする練習をする。	その場所を選んだ理由について口頭で説明する。	紹介する観光コースについて文章で説明する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
ある場所では有名なものや、そこで必ずした（見た）ほうが良いことなどについてアドバイスを練習をする。	その場所のおすすめポイントを口頭で説明する。		
所要時間、アクセス方法といった必要な情報を入れて、モデルの観光コースについて説明する練習をする。	どこをどの順番で訪れたら良いかのコース内容を文章で説明する。	紹介する観光コースについて文章で説明する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
ある場所について説明された文章を読んで、どの場所について説明されたものかを当てるクイズをする。	その場所のおすすめポイントを文章で説明する。		
文章添削を依頼する文を含め、下書きの原稿を作成する。	日本人大学生に添削してもらった内容を踏まえて加筆修正する。	日本人大学生が興味のある内容を踏まえて、観光コースを作成する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
クラス内で互いに興味のあることについて聞きあうインタビュー練習を行う。	日本人大学生にインタビューをして興味関心のある内容を聞き出す。		
日本人大学生にインタビューをする準備（質問リストの作成）をする。	日本人大学生に Skype を通してコース内容を伝え、反応を見て適宜修正する。	日本人大学生が興味のある内容を踏まえて、観光コースを作成する。	状況設定：聖潔大学校日語日文学科の日本語クラスでは、仙台市の宮城学院女子大学の日本人大学生（日本語教員養成課程の演習クラスを受講する3年生）を対象に、韓国へ来た時に役に立つ韓国案内パンフレットを作成し、プレゼントすることになった。日本人大学生と遠隔的に交流活動を行いながら、必要な情報を収集し、パンフレット作成に生かす。
異なるグループに対して、自分たちのグループで考えた観光案内コースのプランを説明する。			
観光コースの内容をメモにまとめる。			

外国語学習のめやすJマスター研修 2013 課題発表:目標設定・活動・評価

作成者:宮城学院女子大学准教授 澤邊裕子

評価ルーブリック

テーマ:韓国オーダーメイドツアー作り

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
内容・構成 ×2	日本人大学生へのインタビューの結果を踏まえて、案内する場所が選択できている。また、オリジナリティあふれるパンフレットの紙面となっている。	日本人大学生へのインタビューの結果を踏まえて、案内する場所が選択できている。また、レイアウト、紙面もわかりやすいものとなっている。	日本人大学生へのインタビューが実施されているが、案内する場所の選択にあまり参考にされていないか、紙面があまりわかりやすいものになっていない。	日本人大学生へのインタビューが実施されているものの、案内する場所の選択にあまり参考にされていない。紙面にオリジナリティがあまり感じられない。
日本語の文章 ×2	案内する場所やそれに関する情報が的確にまとめられ、自分たちの経験などを踏まえた魅力的な日本語の文章で書かれている。誤りもほぼない。	案内する場所やそれに関する情報が的確にまとめられ、自分たちの経験などを踏まえた日本語の文章で書かれている。一部誤りも見られるが、文章の理解にほとんど問題がない。	案内する場所やそれに関する情報がある程度書かれている。自分たちの経験に触れる部分があまり多くない。文章の理解にところどころ支障をきたす部分がある。	案内する場所やそれに関する情報がある程度書かれているが、正確さに欠ける、あるいは自分たちの日本語らしくない表現が目立つ。
完成発表会のプレゼンテーション	企画発表会の内容を踏まえて適切にパンフレット内容を修正している。聴衆がパンフレットの内容を理解するために十分な内容が含まれている。さらに、聴衆が聞きとりやすくわかりやすい魅力的な発表となっている。	企画発表会の内容を踏まえてパンフレット内容の修正がほぼ行われている。パンフレットの内容もほぼわかる。さらに、聴衆が聞きとりやすく、わかりやすいプレゼンが意識されている。	企画発表会の内容を踏まえたパンフレット内容の修正がある程度なされているが、一部足りない部分もある。プレゼンの内容も工夫がもう少し必要である。	企画発表会の内容を踏まえたパンフレット内容の修正がほとんど行われていない。プレゼンの内容もわかりにくい点が多い。
グループワーク	グループの目標を達成するために常に努力し、意見の調整もできる。グループでの目標達成のために常にポジティブであり、他人への協力を惜しまないし、グループのために自分の能力、知識、時間などを常に提供し、目標を達成するために与えられた以上の仕事をする。	グループの目標達成のためにおおむね努力し、意見の調整をすることもある。他人と協働することにおおむねポジティブである。グループのために自分の能力、知識、時間などを提供することが多く、自分に与えられた仕事はおおむね終える。	グループの目標達成のために時として意見の調整をすることもありうる、目標達成のために他人を助けることもある。グループのために自分の能力、知識、時間などを時々提供する。与えられた仕事をしないことも時々ある。	グループの目標達成のために意見の調整をすることがなく、グループの他のメンバーと良い関係を築くことができない。グループでする作業、グループメンバーに批判的なことがある。与えられた仕事をせず、グループへの貢献もほとんどない。

外国語学習のめやすJマスター研修 2013 課題発表:目標設定・活動・評価

作成者:宮城学院女子大学准教授 澤邊裕子

■指示文 (プロジェクト開始時)

これからこのクラスでは日本に住む日本人大学生向けに韓国のツアープランを作り、パンフレットにまとめ、それをプレゼントするプロジェクトを行います。日本の宮城県仙台市にある宮城学院女子大学の大学3年生(以下、MG生とします)の皆さんのために、パンフレットを作ります。この中には、今年の夏に実際に韓国のソウルを訪れる学生も含まれています。学生さんの興味関心を聞いて、オリジナルのツアープランを作ってください。プロジェクトは以下のステップで行います。

- ①グループを作り、自分なら韓国のソウルでどこを紹介したいかそれぞれ話し合う。
- ②担当のMG生のグループが決められたら、自己紹介文の交換をし、興味関心分野を尋ねる。
- ③②の結果を踏まえて、グループで紹介する場所について話し合う。
- ④ツアープラン企画発表会を行う。
- ⑤ツアープラン企画について Skype などを通して口頭でMG生に伝え、修正すべき点を聞く。
- ⑥ツアープランを紹介する原稿を書き、MG生に添削してもらう。
- ⑦添削してもらった内容を参考にしてパンフレットの完成版を作る。
- ⑧完成したパンフレットをMG生に送り、フィードバックを得る。
- ⑨クラス内で完成発表会を行う。

[パンフレットについて]

(内容) 交流相手のMG生のためのオリジナルツアープラン。オリジナルであることを重視します。

(文章) 雑誌やネットにある日本語の文章のコピー&ペーストは不可。自分がその場所を訪れた際の経験談なども含めて、

必ず自分たちの日本語で文章を書くこと。

(構成) 文章と写真をバランスよく配置し、読みやすくわかりやすい紙面を工夫してください。

[ツアープラン企画発表会について]

(時間) 各グループ 15分+質疑応答

(内容) MG生と情報交換をした結果、どのような結果が得られたか。

それを踏まえてどのようなツアープランを考えたか。

文化面でどのような気づきを得たか。

(プレゼン使用機器等) PCまたはiPadのプレゼンテーション用ソフト

(発表者) グループ内で発表する箇所について役割分担を決めてください。必ず全員が話すこと。

(使用言語) 日本語

[完成発表会について]

(時間) 各グループ 15分+質疑応答

(内容) 完成したパンフレットの実物を見せながら、MG生からどのような感想やフィードバックが得られたかについて

報告する。また、グループの一人一人プロジェクトをした感想(自己評価を含めて)を述べる。

(プレゼン使用機器等) PCまたはiPadのプレゼンテーション用ソフト

(発表者) グループ内で発表する箇所について役割分担を決めてください。必ず全員が話すこと。

(使用言語) 日本語